

成人おめでとう

川越市成人式場

広報

川越

No.1336

平成27年2月10日

(毎月10日・25日発行)



川越市シンボルマーク



川越市マスコットキャラクター
「ときも」

成人式(関連記事は7ページ)

振り込め詐欺にご用心! : 2

小規模保育事業を開始予定です : 3

災害時避難行動要支援者避難支援全体計画がスタート : 4

 再会にはじける笑顔 : 7

●「上下水道局だより」が折り込まれています。

*川越市ホームページ(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)でも、広報川越をご覧になれます。

あなたも狙われている…!

振り込め詐欺にご用心!

防犯・交通安全課 224-5721

振り込め詐欺とは、オレオレ詐欺・還付金詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺のことです。川越警察署管内における平成26年の被害件数は62件、額は約1億4500万円です。被害件数は昨年と比較し29件増加しており、39警察署管内中ワースト1に。被害額も3年連続で1億円を超えてしまっています。「私は大丈夫」と思わないで用心し、詐欺から身を守りましょう。

オレオレ詐欺



親族を装い番号が変わったなどと電話をかけて、会社の資金紛失・横領、交通事故の示談金、借金の返済などを理由にお金を要求します。会社の上司・警察官・

防止のポイント

必ず本人の元の電話番号にかけ直し、事実を確認しましょう。普段から、家族とこまめに連絡を取り合ったり、合言葉を決めておいたりすることも有効です。

還付金詐欺



市役所や税務署など公的機関を装い電話をかけ、税金や保険金過払い分などの還付をATMで受け取るよう案内をします。そして、携帯電話越しにATMを言葉巧みに操作させ、逆に犯人の口座に振り込ませませす。時には、金融機関を名乗る人などから次々と電話がかかってくるケースも。

防止のポイント

公的機関等を名乗る電話は、一度電話を切り電話番号を調べてかけ直しましょう。公的機関がATMの操作を求めることはなく、還付金等のお知らせは、原則書面で行います。

架空請求詐欺



電話や郵便、電子メールなどを使い、架空の話を口実として、お金をだまし取りま

防止のポイント

身に覚えのない請求にむやみに応じないようにしましょう。書類の問い合わせ先に、連絡しないことも重要です。ただし、裁判所からの通知の場合は、放置せず連絡先を自分で調べなおして確認してください。

融資保証金詐欺



ダイレクトメールやチラシを使って「低金利」「すぐ融資」「簡単審査」などと広告し、容易に融資をするかのように装います。そして、保証金や信用確認といった名目でお金をだまし取りま

防止のポイント

実在の貸金業者かどうか、申し込む前に確認しましょう。正規の貸金業者が、融資前に保証金や手数料などの名目でお金を振り込ませることはありません。

相談してください

現在は手口が多様化し、宅配便や郵送などで送金させたり、自宅等へ現金やキャッシュカードを受け取りに來たりする「振り込ませない」事例があります。さらに、弁護士や警察官などいろいろな人を登場させ、信じ込ませようとしてくる、劇団型犯罪など、巧妙化もしています。

犯人は、私たちを焦らせ冷静に考える時間を与えないようにしてきます。電話を利用した詐欺は、留守番電話、番号表示設定、非通知電話拒否設定などで、まず犯人の電話に出ないことが防止策になります。そして何より、お金を要求する不審な連絡があったら、必ず家族や警察署に相談してください。

川越警察署 224-0110

名誉市民・舟橋功一元市長逝去

秘書室 224-5491

川越市名誉市民で元川越市長の舟橋功一さんは、1月4日、82歳で逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



舟橋元市長は、栃木県栃木町（現・栃木市）に生まれました。昭和36年4月に弁護士登録し、同38年4月には埼玉県議会議員に初当選しました。以来、同50年4月までの3期12年にわたり県議会議員として地方自治の発展に努めました。

平成5年2月に川越市長に初当選し、以来、同21年2月までの4期16年にわたり、川越市長として職務を果たしました。市長在職中は、市民目安箱の設置や市政懇談会を開催し、市民に開かれた対話の市政を実現しました。平成15年には、埼玉県で唯一、

中核市への移行を果たし、より効率的できめ細かなサービスの提供を図りました。また、川越シャトルの運行、学校給食での地産地消の推進など、市民生活の利便性の向上に努めました。

さらに、観光振興に積極的に取り組み、観光のまちとしての地位を確立しました。環境分野においては、1%節電運動をはじめ、地球温暖化対策条例の制定など、地方自治体として全国でも先駆的な役割を果たしました。

その他、川越ナンバーの実現、フランスのオータン市や北海道中札内村との姉妹友好都市盟約の締結など、さまざまな分野において本市の発展と市民生活の向上に取り組まれました。

このような多方面にわたる功績と榮譽をたたえ、平成13年には埼玉県知事表彰地方自治功労を受賞、同25年11月には川越市名誉市民に推挙されました。

小規模保育事業を開始予定です

保育課 224-5827

4月から、次の施設で小規模保育事業を開始する予定です。小規模保育施設は、少人数(定員6~19人)で保育を行う施設です。対象年齢は、2か月~2歳児です。申し込み等について、詳しくは市ホームページを確認するか同課にお尋ねください。

施設名(仮称)	所在地
田村保育室	六軒町2丁目13-15
すみれ保育室	宮元町80-6
つぼみ保育園	連雀町12-10
なのはな乳児保育室	並木67-1・A-106
あそびのてんさい新河岸第2保育園	砂新田48-2
並木あすなろ保育園	並木101-1
やしのみ保育園	岸町2丁目8-1・三澤管財川越ビル1階
まーぶる保育園 しんがし園	砂949-8・井上ビル101
ぼっかぼか保育園	南台3丁目2-2・プランニングビル1階
ちゅうりっぷ園川越	新富町1丁目9-1・湯遊ランド1階

■小規模保育施設への入園申し込み

保育園の4月入園の申し込みをしていない方、申し込みをしたが入園が保留となっている方は、現在受付中の保育園の2次募集で手続きを行ってください。なお、保育園への入園が決定した場合は、2次募集に申し込むことができません。

受付日程…2月18日(水)までに保育課(本庁舎3階)、郵送不可



「赤ちゃんの駅」をご利用ください！
授乳・おむつ替えスペース提供します！

子育て情報課 224-5724

市では、授乳やおむつ替え用の無料スペースがある市内公共施設を「赤ちゃんの駅」として指定しています。外出時には、お気軽にご利用ください。また、県でも民間施設を含めた赤ちゃんの駅事業を実施しています。それぞれの該当施設は、市または県のホームページで確認できます。
*施設の入口付近に設置してある、上記案内標示が目印です。

災害時避難行動要支援者避難支援全体計画がスタート

防災危機管理課 224・5554

市では、高齢者や障害のある方など、災害時に自力で避難することが難しい方を支援するため、「災害時要支援者避難支援制度」を推進してきました。このたび、災害対策基本法の改正に伴い、これまでの制度を改訂し、「災害時避難行動要支援者避難支援全体計画」を策定しました。

同計画に基づき、市は支援の対象となる方全員の名簿を常備し、災害時には、自治会などに提供し、地域の皆さんの協力による避難支援や安否確認などに活用します。

また、平常時から、ご自身の情報を地域に提供することに同意する方については、前述の名簿とは別に名簿を作成し、地域に提供します。この名簿は、日常の見守りや声かけ、避難計画の検討などに活用します。詳しくは、市ホームページを確認するかお尋ねください。

支援の対象となる方

- ①世帯全員が要介護3以上の高齢者(65歳以上)
- ②世帯全員が75歳以上の高齢者
- ③視覚障害、聴覚障害、下肢・体幹・移動機能障害がある

④上記③以外の身体障害(1級または2級)がある

⑤知的障害(AまたはA)がある

⑥精神障害者保健福祉手帳(1級)の交付を受けている

*施設や病院などに長期入所・入院されている方は対象になりません。

地域への情報提供について意向確認する通知を発送します

同計画で支援の対象となる方には、ご自身の住所・氏名・生年月日などの情報を、平常時から地域(自治会・民生委員・消防局・警察署等)に提供することに同意するかどうかを確認する通知を、2月下旬に発送します。同意する方は、同封の同意届出書を提出してください。

*旧制度に登録していて、引き続き地域への情報提供に同意する方も、届出書の提出が必要です。

*支援の内容は地域差があり、また、できる範囲の支援となるため、事前に地域へ情報提供することで、安全が約束されるものではありません。

就学費用を援助

教育財務課 224・6083

経済的理由で公立小中学校への就学が困難な家庭に、学用品・給食・校外活動・修学旅行・医療費など、就学にかかる費用を援助します。詳

しくは、2月中に学校を通じて配布する「平成27年度就学援助のお知らせ」をご確認ください。新たに小学1年生になる子を持つ家庭には、2月の学校説明会で配布します。

対象：市町村立小中学校に在学または入学予定の児童・生徒の保護者のうち、次のいずれかに該当する方

- ①世帯所得が基準額未満
- ②児童扶養手当(児童手当とは異なる)を受けている

申請期間：2月16日(月)～3月13日(金)

申請方法：申請書に必要書類を添付し、教育財務課(東庁舎2階)または在学もしくは入学予定の学校に提出(郵送不可)

*現在援助を受けていて、新年度も引き続き援助を希望する場合も申請が必要です。

*現在援助を受けていない方が新たに申請する場合、6月分までの援助については、別途申請する必要があります。詳しくはお尋ねください。

*申請期間を過ぎた場合、申請書の提出月によって、受給できる内容や金額が異なります。

確定申告・還付申告はお早めに

市民税課 224・5640

平成26年分の所得税の申告を受け

付けます。詳しくは、1月25日発行の広報川越・3ページを確認するか川越税務署 235・9411にお尋ねください。所得税の申告をする方は、市・県民税の申告は不要です。

確定申告会場

■川越税務署(〒350・8666 並木452・2)

受付日時：2月16日(月)～3月16日(日) (土・日曜日を除く)、午前8時30分～午後5時

*2月22日(日)・3月1日(日)は受け付け。*相談開始は午前9時。

還付申告会場

■東上パールビル地下1階(脇田本町15・13)

受付日時：2月12日(木)～3月5日(木) (土・日曜日を除く)、午前9時～11時 ▼午後1時～3時

*相談開始は午前9時30分。

市税などの納期のお知らせ

納期限は、3月2日(月)

固定資産税(第4期)
国民健康保険税(第8期)

収税課 224・5686

後期高齢者医療保険料(第8期)

医療助成課 224・5842

介護保険料(第8期)

介護保険課 224・5817



市長からの手紙

45 川越の観光

正確な数字の報告を受けたわけではありませんが、平成26年は川越を訪れてくれた観光客の数が増加したという印象を抱いています。その要因は、平成25年3月に鉄道5社による相互直通運転が開始され、横浜から川越まで直通電車が走るようになったこと、ここ数年テレビ番組で川越が紹介される回数が増加していることなどがあろうかと。

また、東日本大震災、原発事故で減った外国人観光客がこの3年間でずいぶん回復し、むしろ震災以前より増加しているということもあります。実際、中国、韓国や東南アジアからの観光客がかなり増えているようです。

観光客が増加する礎は、昭和50年代初めから一番街の商店、住人の皆さんのグループが中心になって、古い蔵造りの建物を生かして、街のにぎわいを取り戻そうという活動を

進めてくれたことにあります。そして、時を同じくして、観光の傾向、観光客のニーズが変化し、団体でバスを利用して観光するという形から、少人数で(ときには一人で)観光スポットを回るのが主流になってきたことが、川越の観光客増加の大きな要因になっていると思います(観光について書かれた本の知識と私の記憶です)。

現在、観光客数は上昇傾向ではありますが、この状態がいつまでも続くという保証はありません。テレビで取り上げられる回数が減れば、観光客は減ると予想されます。また、最近では観光地でよく目にする店がまちなかでも見られるようになってきました。そのような店が増えるということは、にぎわい増加というプラス面がある一方、「川越らしさ」が薄れてしまうおそれもあります。

これからも川越を訪れる観光客の皆さんに、「良いところだ、また来てみよう」という気持ちを抱いてもらうためには、「おもてなし」の心を高めていくことが大切と考えます。2020年の東京オリンピックに向けて、市全体でしっかり取り組んでいかなければと気を引き締めています。

川越市長 川合善明

未来に向けて⑪

広域行政の推進

政策企画課 224・5503

近年、交通網の発達や情報ネットワークの整備により日常生活圏が拡大し、人々のライフスタイルや価値観が多様化してきました。また、少子高齢化や人口減少に伴い、地方自治体では、社会保障などの歳出が増加しています。さらに、15歳から64歳の生産年齢人口の減少等による歳入の減少により、厳しい行財政運営が続いています。こうした中、既存の市町村の枠を越え、独自性を生かしながら相互に連携した取り組みを進める「広域行政」が重要になっていきます。

川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町の7市町で構成される「埼玉県川越都市圏まちづくり協議会(通称、「レインボー協議会」)も広域行政の取り組みの一つです。

同協議会では、互いに連携・協力しながら自立した地域づくりを目指すため、レインボーまつりなどの事業による圏域住民の交流促進や、図書館などの公共施設の相互利用による利便性の向上を図っています。また、各市町の観光スポットなどを「レインボーおでかけマップ」(写真)で紹介しています。マップは、政策企画課(本庁舎4階)、観光課(本庁舎5階)で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。



圏内の公共施設を利用したり、観光スポットを訪れたりして、新たな魅力を発見してみませんか。



古谷地区の各団体が協力して行われる「親子あげ大会・防災教室」を紹介しします。この行事は、地域の交流を深め、防災意識を高めることを目的に開催される新年のイベントで、今年で11回目を迎えました。会場となった古谷小学校では、300人を超える小中学生やその保護者が参加。体育館では子どもたちが小江戸の会の指導のもと凧作りを体験し、思い思いの絵柄を熱心に書き入れていました。



凧作りを終えた子どもたちと保護者が参加した防災教室では、スモークが炊かれたテントの中を手探りで通り抜けたり、AEDや水消火器の操作を体験したり、親子で熱心に取り組んでいる姿が見られました。

また、災害時を想定した取り組みとして、古谷地区でボランティア活動などを行っているグループによる炊き出しが行われ、参加者は、熱々のけんちん汁や、つきたての餅を食べて親睦を深めました。

このように古谷地区では自治会や団体が協力して行う事業に、子どもや保護者が多く参加することにより地域全体で連帯感を育み、安心して生活できる地域を創り出しています。

市民とともにつくる

安全で安心なまち川越

防災危機管理課 224-5554

避難情報について

台風の接近や集中豪雨など、災害が発生するおそれがあり、市民の生命・身体の保護のため、特に必要がある場合に市では、避難情報を発令します。この避難情報には、避難準備情報・避難勧告・避難指示があります。

自然災害時には、予測できない事態が起こります。避難情報発令の際には、下表を参考に冷静な判断と、適切な避難行動をお願いします。

緊急度	発令の状況	必要な行動
低 高	避難準備情報 今後、避難勧告に発展する可能性が高まった状況。人的被害発生の可能性が高まった状況	高齢者等の避難行動に時間を要する方は、避難行動を開始。他の人は、避難の準備を開始する
	避難勧告 人的被害発生の可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる人が避難行動を開始する
	避難指示 人的被害発生の可能性が非常に高い状況。または、一部で人的被害が発生している状況	直ちに避難行動を完了。時間がない場合は生命を守る最低限の行動をとる(屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動等)

ゴミ処理とぴつくす

穴を開けて安全!

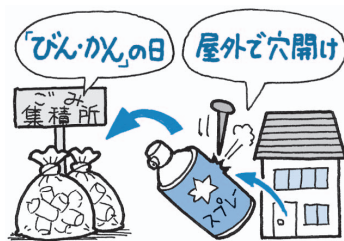
カセットボンベ・スプレー缶

資源循環推進課 239-6267

卓上コンロで使用するカセットボンベや、殺虫剤等が入っているスプレー缶には、可燃性のガスが含まれています。このガスが残っていたことが原因で、収集車両や清掃センターで爆発・火災事故が起こり、ごみの処理を妨げてしまうことがあります。そのため市では、排出時に「必ず中身を思い切り、缶に穴を開ける」ことをお願いしています。作業は、周囲に火気がなく、風通しの良い屋外等で行ってください。

穴をあけたカセットボンベやスプレー缶は、「びん・かん」の収集日に集積所へ出してください。

安全にごみを処理するため、カセットボンベ等の「穴開け」にご協力をお願いします。



ごみ出しの強い味方 「川越市ごみ分別アプリ」 配信!

収集日カレンダー、分別辞典など、ごみ出し情報を提供するスマートフォン向けアプリです。アプリは無料ですが、インターネット接続などにかかる費用は利用者の負担となります。

● iPhone 版



● Android 版



再会にはじける笑顔

1月12日、抜けるような青空の下、川越運動公園総合体育館で成人式が行われました。今年には3,613人が大人の仲間入り。

会場では、新成人たちが同級生との再会を満面の笑みで喜び合っていました。式典では、瀬尾早悠理さん(的場2丁目)と竹本隼人さん(古谷上)が「新成人誓いの言葉」を述べました。

成人式実行委員を務めた奈良地歩斗さん(幸町)は「活躍の場を限定しない国際人になりたい」と将来の夢を話してくれました。



川柳

握る手の温みに記憶 蘇る
 出合いから歳を忘れて 毬になる
 とんとんと事が運んで 拍子抜け
 忘却の扉を開けた 里の風
 老いて未だ 脳細胞の口達者

福田案山子(豊田町一丁目)
 斉藤貞子(上野田町)
 中林和子(野田町一丁目)
 時枝利幸(今福)
 堤まさ(菅原町)

俳句

湯にひとり肩より上は 星月夜
 衣被きぬなかなか抜けぬ 国訛り
 白糸を買いに出ただけ 秋日傘
 故もなく 日記遺書めく 夜長かな
 草の絮わたつれて 乗り込む 小海線

鈴木敏生(山田)
 小林幸二(菅原町)
 北村しずえ(新宿町四丁目)
 高橋芦人(岸町一丁目)
 渡辺秀雄(小仙波町三丁目)

短歌

旗を持つ人先立てて 若からぬ人らのどかに 蔵の街ゆく
 佐藤淳子(小ヶ谷)
 道幅の広くなりたる 大通りレトロな帽子屋姿を消しぬ
 岡田貴美子(菅原町)
 とりどりの葉を一家三人が 食後の卓に 並べて居りぬ
 田中操(仙波町一丁目)
 型よく帯締め終へて パンとたたき いつもながらの 我を保てり
 小峯綾子(南台二丁目)
 昨夜研ぎし 包丁の切れ心地よく 朝の厨くに 大根刻む
 宮崎美与子(元町一丁目)

短歌・俳句・川柳

平成26年度市民文化祭入選作品

文化芸術振興課 224-6157

古代人間郡家の謎

奈良時代頃の川越は、武蔵国入間郡に属しており、上戸にある霞ヶ関遺跡には入間郡の郡家がありました。郡家とは、現在の市町村の役所に相当するものです。

遺跡の発掘調査では、郡家で働く役人たちが使用した土器や硯が多数出土しています。また、郡家の建物跡と見られる柱穴が筋をそろえて幾つも発見され、奈良時代の大型掘立柱建物が整然と並ぶ様子も確認されています。各地で発掘調査された郡家の遺跡では、建物が「コ」や「ロ」の字を描くように配置され、儀式等に使用される広場を建物で囲んでいたことが多かったようです。霞ヶ関遺跡の建物は全体の一部しか検出されていませんが、各地の郡家と同じような並び方をしていた可能性がります。

しかし、霞ヶ関遺跡では奈良時代後半になると郡家と思われる建物群が姿を消してしまします。まだ発掘調査で見つからないだけなのか、それとも郡家が別の場所に移転したのか、古代の入間郡家にはまだまだ謎が多く残されています。



上空から撮影した、奈良時代始め頃の遺跡(平成9年6月頃撮影)。小さな黒い点が建物の柱穴



ブロッコリー機械利用組合

実は埼玉県はブロッコリー生産量が全国第3位。市内でも多

く生産されています。小さな緑色のつぶつぶは、1つひとつが花のつぼみです。アクがなく、加熱すると甘みが増すので、シチュー、サラダ、炒め物、煮物などさまざまな料理に使われています。

生産効率の向上と農業者の負担軽減のため、平成23年に設立したブロッコリー機械利用組合。現

在、7人の農業者が3つの機械を共同で利用しています。「品種ごとに生育時期などが異なるので、秋冬ものは10月～1月頃、春ものは4月中旬からが旬。茎が太く緑が濃いものがお薦めです」と組合員の皆さん。特に春ものは、柔らかくいつそうおいしいそうです。暦の上では春ですが、春ものはもう少し先。今から待ち遠しいですね。



「ブロッコリーはあまり日持ちしない野菜。取れたての川越産を食べてほしいですね」と組合長の塩野富雄さん(写真右から2番目)

今が旬！ 2月の川越野菜 市内の直売所などで購入できます

ハウレンソウ、コマツナ、トマト、イチゴ、ネギ、ゴボウ、カブ、ニンジン、サニーレタス、キュウリ、菜の花、サトイモ、ダイコン



出来上がった餅は見物客に配られ、寒さの中、つきたての餅をおいしそうに頬張っていました。

中でも「ツブシ」と呼ばれる所作では、6人のつきてが息の合ったテンポで杵を振りまわす。ほかの杵にぶつかるとなく餅をつく姿は、まさに名人芸といった感じで周りの見物客はその様子に見入っていました。

成 人式の前日に開催された南大塚の餅つき踊りに行ってきました。餅つき踊りは、名前のとおり白を数人で囲み、踊りながら餅をつきます。餅つきは6つの所作が連続して行われますが、その様子は、他ではなかなか見られない珍しいものでした。

編集後記

どんぐり